

令和元年度 百舌鳥・古市古墳群世界遺産協議会

事業報告 (案)

I 協議会の開催・運営

- 令和元年 12 月 20 日 (金) 第 4 回百舌鳥・古市古墳群世界遺産協議会 (書面開催)
同年 7 月の世界遺産登録を受け、名称を「百舌鳥・古市古墳群世界遺産協議会」に変更するとともに、関連要綱等を改正
- 令和 2 年 3 月 27 日 (金) 第 5 回百舌鳥・古市古墳群世界遺産協議会 (書面開催)
令和元年度事業報告、令和 2 年度事業計画・予算を協議

II 学術委員会の開催

世界遺産、考古学、都市計画等の専門家からなる委員会を開催し、学術的な見地から資産及びその周辺環境の保存管理と整備活用に関する助言、報告をいただいた。

【開催日】令和元年 9 月 17 日、令和元年 12 月 17 日、
令和 2 年 3 月 3 日 (新型コロナウイルス感染拡大により延期)

【委員】稲葉 信子氏 (筑波大学大学院教授)
岡田 保良氏 (国土舘大学教授) ※委員長
ウェルナー・シュタインハウス氏 (広島大学大学院客員准教授)
田中 哲雄氏 (日本城郭研究センター名誉館長)
西村 幸夫氏 (神戸芸術工科大学教授)
福永 伸哉氏 (大阪大学大学院教授)
増田 昇氏 (大阪府立大学特認教授)
宗田 好史氏 (京都府立大学副学長・教授)
和田 晴吾氏 (兵庫県立考古博物館長) ※副委員長

【主な議題】

- ・ 第 43 回世界遺産委員会決議について
(決議内容の報告、追加的勧告への対応の方向性)
- ・ モニタリング項目について
(構成資産、緩衝地帯、来訪者への対応に関するモニタリングの実施方法、モニタリング結果のとりまとめ等)
- ・ 資産の整備方針について
(国際専門家会合に向けたスケジュールや会合の構成等)
- ・ 遺産影響評価の考え方について
(追加的勧告により求められた具体的な工事等に対する HIA の評価手法等)
- ・ 百舌鳥エリアの来訪者受け入れ等について
(百舌鳥エリアにおけるガイダンス機能のあり方や周遊ルートの検討、来訪者の受け入れ事業等)